



はじまるだより

2025年12月3日
(11月号)

第135号

中国地方ダム整備局

第21回およりん祭に出展しました

11月9日（日）安芸高田市八千代支所構内において、第21回八千代およりん祭が開催されました。

当日は、あいにくの雨模様となり、和太鼓演奏や神楽演舞などのステージイベントは屋内での実施となりましたが、屋外会場には飲食コーナーなど多数の出店があり、土師ダム管理所も展示ブースを出展し、大勢の方に来場いただきました。

管理所のブースでは、土師ダムのあゆみや役割に関するパネルや流域治水の模型を展示し、土師ダムに関するクイズを解いていただきました。

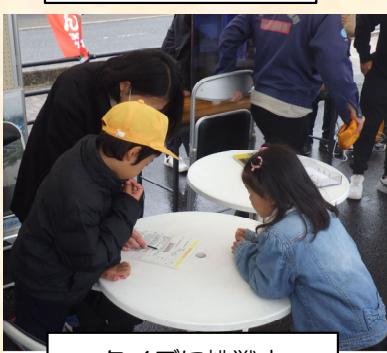
今回は、たくさんの方々に日頃の感謝と、土師ダムの役割をお伝えする機会として、充実したイベントとなりました。



はじまるくん
子どもに大人気



土師ダムの役割
パネル展示

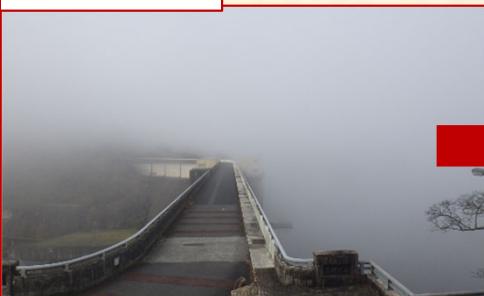


クイズに挑戦中

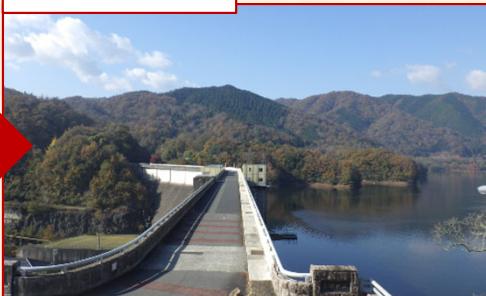


流域治水模型展示
(三次河川国道事務所提供)

11月17日 8:30



11月17日 10:30



11月29日



色づく山々と八千代湖

11月29日



のどごえ公園

秋も深まり、山々の木々も紅く色付いて朝夕の寒暖差を実感できる季節となりました。八千代湖では、この季節特有の気象条件により、水面から発生する水蒸気と風の影響が弱くなる山間部の地形により、朝の気温が厳しい冷え込みとなる今頃の時期には前が見えないほど濃霧に覆われる日があります。雪が舞い散る季節も近づいてきましたが、今しか見られない八千代湖が紅葉に色づく風景をお楽しみください。

土師ダムのリアルタイムの貯水位や流入量・放流量など詳しい情報はこちら

川の防災情報

<http://www.river.go.jp>



令和7年度ダム操作・維持管理研修（中級）に参加しました。

11月28日、中国電力㈱南原研修所において、再生利用可能なエネルギーの取り組みについての講話を聴講し、研修所に配備されているダムのシミュレーターによる実技訓練を行いました。実技訓練は、実際の洪水を想定した流入量を基に、①ダムへの流入量を手計算、②ダムのゲート開度を手計算、③時間毎に変化する洪水量を紙面上で作成、④ダムのシミュレーターによるゲート操作の順で行いました。

シミュレーター研修は、ダムコン（ダムコンピュータ）を使用し、ダムの操作訓練を行いました。ダムコンにより洪水時のダム流入量から放流量を導き出し、その時の各ゲート開度を算出します。

平常時のダム操作は自動制御されていますが、洪水時は職員がダムの洪水調節操作を行っています。研修では、洪水時調節の知識、放流の原則、操作規則・細則に則ったダム操作の手順を確認しました。今回の研修を参考として、今後の土師ダムの適切な操作や管理に活かしていきます。

ダム貯水池の堆砂量を測量調査中

土師ダムは管理開始から5年が経過していますが、この間、ダム貯水池内には洪水等により上流から流れ込んでくる土砂がたまり続けています。

この土砂がたまりすぎると、貯水池の容量が少なくなり、洪水調節などダム本来の機能が発揮できなくなってしまいます。

このため、土師ダムでは2年に1回、貯水池内の測量調査を実施することにより、貯水池にたまつた土砂量（堆砂量）を確認しています。

今年は10月から水上ボートと空中ドローンにより、特殊なレーザを使用した測量調査を行い、最新の堆砂量を算出しています。

なお、ダムの堆砂量は、100年間にダムにたまると想定される土砂の量（計画堆砂容量）をもとに計画されており、土師ダムの堆砂量は、令和5年度の前回調査までに計画堆砂容量の約43%となつており、概ね計画どおりであることを確認しています。（これまでの調査結果は左下のQRコードから確認できます。）



流入量予測・ゲート開度計算中



ダムコン操作訓練中



ドローン測量



ボート測量



◀前回の調査結果はこちらから確認できます

八千代湖の水質（10月）

土師ダム湖心の水質 (mg/l)

環境基準	COD(全層)		総窒素(表層)		総リン(表層)	
	3.0		0.43		0.018	
9月	3.3	×	0.72	×	0.018	○
10月	3.2	×	0.46	×	0.015	○

ダム周辺の観光客数（11月）

令和7年11月 10,605人

国土交通省中国地方整備局 土師ダム管理所

広島県安芸高田市八千代町土師369-24

TEL : 0826-52-2455

E-MAIL : haji@cgr.mlit.go.jp

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/haji>

X (旧Twitter) : @mlit_hajimaru

